

**製品名: DAB2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03298**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 82 kDa; Observed MW: 96 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DAB2
別名	DOC2; DOC-2
遺伝子 ID	1601
SwissProt ID	P98082
免疫原	ヒト DAB2 の合成ペプチド

**背景**

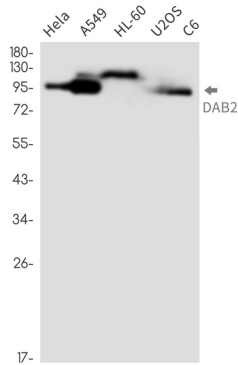
この遺伝子は、ミトジェン応答性リン酸化タンパク質をコードしています。正常な卵巣上皮細胞では発現が亢進していますが、卵

巣癌細胞株では発現が低下しているか欠如していることから、腫瘍抑制因子としての役割が示唆されています。このタンパク質は、チロシンキナーゼ受容体と SOS (Ras のグアニンヌクレオチド交換因子) を結合させるアダプタータンパク質である GRB2 の SH3 ドメインに、C 末端のプロリンリッチ配列を介して結合します。そのため、GRB2 への結合をめぐって SOS と競合することで、増殖因子/Ras 経路を調節すると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつかっています。

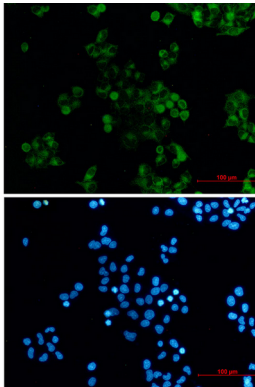
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



DAB2 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中の DAB2 のウェスタンブロット分析。



DAB2 抗体と DAPI (青) を用いたヘラ細胞中の DAB2 (緑) の免疫細胞化学分析